

## 訂正情報

『その節税が会社を殺す お金に強い社長がコソコソやってる節税&資金繰りの裏ルール 31』に以下のような誤植がございました。該当箇所については、増刷時に修正する予定です。お客さまにご迷惑をおかけしましたことを謹んでお詫び申し上げます。

2018年6月1日

正しくは以下のようになります。

### ◆P.10 3行目

【誤】

売上、利益とその相関をチェック

【正】

売上、利益とその増減をチェック

### ◆P.23 1行目

【誤】

- ①しっかり手元資金を確保
- ②必要な投資が可能で経営にも余裕を持てる
- ③銀行が「低金利などの良い条件にしますから、借りてもらえませんか」と言ってくる
- ④売上がアップ。金利も下げられて利益アップ
- ⑤銀行は「もっと借りてください」と言い、さらに手元資金が厚くなる

【正】

- ①現金の減る節税をやめる
- ②しっかり手元資金を確保
- ③必要な投資が可能で経営にも余裕を持てる
- ④銀行が「低金利などの良い条件にしますから、借りてもらえませんか」と言ってくる
- ⑤売上がアップ。金利も下げられて利益アップ
- ⑥銀行は「もっと借りてください」と言い、さらに手元資金が厚くなる

◆P.30 3行目

【誤】

保険会社に支払った保険料と法人税は同額です。

【正】

解約時に返ってくる解約返戻金と支払保険料との差額、つまり、実質保険料は法人税と同額です。

◆P.31 図版

【誤】

保険金 1000万円

【正】

保険料 1000万円

◆P.70 3行目

【誤】

売上が大きくなると、その分お金は苦しくなります。

【正】

前受なり現金で入金してもらえる業種以外のビジネスでは、売上が大きくなると、その分お金は苦しくなります。

◆P.82 5～6行目

【誤】

売上が増えても、手元資金は増えません。お金を増やす方法は2つ、借入をするか、出資を受けるかです。

【正】

多くの会社では売上が増えても、手元資金は増えません。むしろ減ります。お金を増やす方法は2つ、借入をするか、出資を受けるかです。

◆P.82 7行目

【誤】

出資はそう機会のあるものでもないですから、一般的なものは借入だけです。

【正】

出資はそう機会のあるものでもないですから、**実質的には借入**だけです。

◆P.126 4行目

【誤】

中小公庫は、国金と似ていても国金より**融資額**が大きく、

【正】

中小公庫は、**融資額**が大きく、

◆P.144 図版

【誤】

資本合計 (C)

負債・資本合計

【正】

**純資産**合計 (C)

負債・**純資産**合計

◆P.146 小見出し

【誤】

売上、利益とその**相関**をチェック

【正】

売上、利益とその**増減**をチェック

◆P.182 3～4行目、P.183 図版

【誤】

初回取引

【正】

**新規**取引

◆P.213 6行目

【誤】

グループ会社が複数あると取引が不明瞭だと銀行は嫌がるので**合併**、

【正】

グループ会社間の取引が不明瞭だと銀行は嫌がるので合併、

◆P.218 6行目

【誤】

「どれだけ投資をしてきたか」

【正】

「どれだけ回収できたか」

◆P.228 8行目

【誤】

大きな節税とは一体何か？ それは「投資」です。

【正】

大きな節税とは一体何か？ それは「銀行融資を受けて手元資金を減らさずに行う投資」  
です。